

令和4年度 第2回仙台市都市計画協議会 議事概要（立地適正化計画）

日 時 令和4年8月29日(月) 14:30～17:30
会 場 TKPガーデンシティ仙台勾当台 ホール1
議 題 仙台市立地適正化計画の素案について
配付資料 資 料 2 仙台市立地適正化計画 素案

【 主な意見等 】

- ・市街地をつかうことによって多様な活動を展開する、都市計画マスタープランが目指す都市の具現化を図る計画ということは理解した。素案の中で示している各区域や施設の設定により、どのような活動が展開されるのかというイメージが掴みにくいいため、具体的にしていくと良いと考える。
- ・都市計画マスタープランで示していた広域拠点の他、都市軸においても具体的な範囲で都市機能誘導区域を示している。こうした区域設定を行うことで、互いに連携してまちづくりを進めるなど、拠点間の連携という考え方も出てくる契機になるのではないかと思う。
- ・立地適正化計画の広域連携について、仙塩広域都市計画区域内においては現状、同時期に策定予定の自治体がないとのことだが、今回先行して策定する本市の考え方については、機会を捉えて周辺市町村への情報提供などを行っていくべきではないか。
- ・例えば、計画終期に近い2040年の人口は、1995年時点と同程度になる見込みであるが、1995年当時と比べて郊外に大規模な集客施設が立地している現状を踏まえると、相対的に都心の求心力は低くなるものと推察される。